

対象学年					
幼稚園・保育園	小学校			中学校	一般
年長	低学年	中学年	高学年		

野鳥観察 (巣箱作りと設置、観察)



プログラムの概要

キゴ山の森は、昔から人々に炭や薪、キノコのほだ木、山菜など多くの恵みを与えてきた森でした。そして、多くの動物や植物が育つ豊かな森でした。その中で、鳥もまた豊かな森で暮らしてきました。

野鳥を観察すると共に、マイ巣箱を制作し設置し、四季を通して巣箱で子育てしたりする姿などを観察することがねらいです。

このプログラムでは、

- ・鳥が子育てする巣箱を作ります。
- ・巣箱を設置することで、鳥の行動や暮らしを学びます。
- ・四季を通して巣箱の様子を観察し、野鳥の暮らしを学びます。

など野鳥の姿を長期にわたって観察する楽しみを感じて欲しいと願っています。

鳥の名前を知らなくても、鳥の姿、色や形、しぐさ、さえずりに目と耳を傾けてみましょう。そして、巣箱の中で繰り広げられる子育てのドラマを、鳥と一緒に経験しましょう。

所要時間：1日（4～6時間）

銀河の里キゴ山

野鳥の観察（巣箱づくり・設置・観察）

1. 活動のねらい

このプログラムでは

- ・野鳥を観察するとともに、マイ巣箱を制作し設置し、四季を通して巣箱で子育てしたりする姿などを観察します。
- ・鳥が子育てする巣箱を協力して作ります。
- ・巣箱を設置することで、鳥の行動や暮らしを学びます。
- ・四季を通して巣箱の様子を観察し、野鳥の暮らしを学びます。

など野鳥の姿を長期にわたって観察する楽しみを感じて欲しいと願っています。鳥の名前を知らなくても、鳥の姿、色や形、しぐさ、さえずりに目と耳を傾けてみましょう。そして、巣箱の中で繰り広げられる子育てのドラマを、鳥と一緒に経験しましょう。

2. 活動場所

- ・銀河の里キゴ山の敷地
- ・基本的に外で作業するが、雨天時や低温時は館内のプレイルーム等でも行う。

3. 活動人数・規模

- ・10グループ、30人程度



4. 準備品等

- ・団体・個人で用意するもの：カップ、汚れてよい服装、着替え、タオル、軍手、長靴かズック
- ・館が用意するもの
巣箱づくり：巣箱の材料、のこぎりなどの道具、梯子
野鳥観察：双眼鏡、フィールドスコープ、野鳥のハンドブック、地図

5. 活動の手順

(1) 事前学習（銀河の里に来る前の学習）

- ・学校や家の周りで見られる鳥について調べておきましょう。環境の違いで見られる鳥に違いがあることに気づきます。
- ・双眼鏡の扱い方に慣れておきましょう。
- ・のこぎりや金槌の使い方を練習しておきましょう。

(2) 野鳥観察オリエンテーション

- ・キゴ山で見られる野鳥について専門家から説明を聞きます。
- ・巣箱設置と観察のねらいやおもしろさについて説明を聞きます。

(3) 巣箱づくり（設計図、手順書参照）

- ・設計図と手順書に基づいて、一枚の板から巣箱をグループで協力して作っていきます。
- ・出来上がった巣箱に、刻印や制作者指名などを記入します。



(4) 巣箱の設置と観察

- ・森の中を観察し設置場所を決めます。
(巣箱に出入りするために樹木の枝等がじゃまにならないか確かめます。)
- ・出来上がった巣箱を森の中に設置します。
- ・設置場所を地図に記入します。
- ・巣箱の前が開けた木の幹に、紐でしばって設置します。
- ・梯子を使って、2m50cm以上の高さの位置に設置します。
- ・設置後、写真に撮って記録します。
- ・双眼鏡やフィールドスコープで観察場所を予定します。

(5) これからの観察についてのガイダンス

- ・9月までの観察モデルケースについて説明します。
- ・観察記録の仕方を説明します。
- ・巣箱内の観察について説明します。



(6) 活動の振り返り（事後学習）

- ①グループごとの振り返り
- ②全体での振り返り（グループの代表が発表します。）

(7) 9月までの観察とまとめ

- ・季節ごとに観察を続けます。
- ・所員も観察を継続し、変化をお伝えします。

春の観察ポイント

- ・春から夏にかけては、鳥たちにとって求愛、子育ての時期で、季節の中で一番観察しやすい時期です。この時期は、鳥たちは目立つために木のてっぺんにいることが多いです。
- ・鳥たちが、巣箱を使ってくれるか注目の時期です。
- ・使っている様子が確認できると、巣箱の中の卵やひなの様子、餌やりの様子、巣立ちの様子が観察できます。

夏の観察ポイント

- ・7月から8月にかけては、羽が生え替わる（換羽：かんう）時期になるので、あまり姿が見られなくなります。
- ・使用後の巣箱の中を観察できます。

秋の観察ポイント

- ・大型のワシやタカの渡りの時期となります。上昇気流をとらえて飛行する様子も見るができます。
- ・使用後の巣箱を回収して、水洗い天日干し、熱湯消毒などして翌年の準備をします

冬の観察ポイント

- ・木々の葉が落ち、森の見通しがきくようになります。森の中に入ってしばらくじっとしていると、ヤマガラなどの小型の鳥たちが移動する様子が見ることができます。
- ・これまで見落としていた使用後の巣や木の幹をつついた跡なども発見できます。

5. 活動のまとめ

- ・巣箱を作ったり設置したり観察したことでの気づいたこと感じたことを話し合います。
- ・今後の観察についての期待を発表し合います。
- ・協同作業での気づきや友達のよさについて話合う。



6. 活動の留意点

(1) 活動全般

- ・事前に活動場所の情報を所員から聞いておくことが大切です。可能であれば予察して危険な箇所や動物等の確認などしておきましょう。
- ・標高400mにある銀河の里は、年間を通して気温が低めですし、天気の変化も急です。夏季においても防寒着（上着や手袋等）や雨具の準備は欠かせません。
- ・野外での活動や木工作业があることから、服装は長袖、長ズボン、長靴を用意します。

(2) 巣箱づくり

- ・グループや家族で協力して作ります。
- ・道具の使い方をしっかり守って安全に作業しましょう。
- ・周囲にも人がいることに留意して、危険がないよう慎重に作業します。

(3) 巣箱設置と観察

- ・双眼鏡、フィールドスコープで直接太陽を絶対に見ない。
- ・鳥の視力は、人より優れています。服装は原色をなるべくさけ、目立たない色の物にしましょう。
- ・鳥は物音にも敏感です。観察するときは、物音を立てずしゃべらないようにし、静かに観察しましょう。
- ・巣箱の設置では、梯子に登る人、支える人、注意する人など協力して、安全に心がけます。
- ・観察する巣箱の位置がわかるように目印をし、地図にも記録しておきましょう。

(4) その他

- ・冬期の観察では、スノーシューやかんじきを履いて森の中に入ると鳥に出会えます。